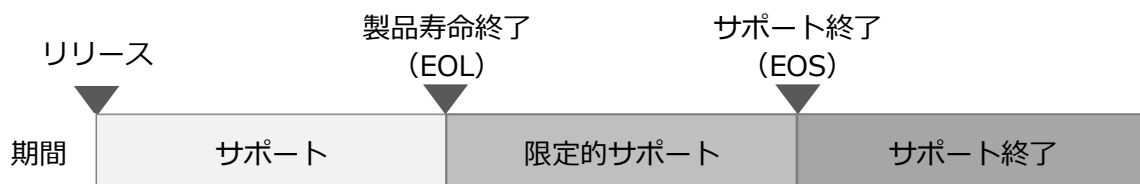


セキュリティ関連情報

1. EOL/EOS について

当該製品（術中 MR イメージング装置 OPERADA Open）における、EOL,EOS の定義を以下に示します。



<EOL/EOS 方針>

EOL（製品寿命終了）：製品に搭載されたオペレーティングシステム（OS）に対して、ベンダーのサポートが終了する日

EOS（サポート終了）：医療機器の製造業者がサポート活動を終了する日

※EOL,EOS とは別に、医療機器の耐用期間があります。耐用期間については添付文書をご覧ください。

<本製品の EOL/EOS 情報>

バージョン ^{注1)}	EOL ^{注2)}	EOS ^{注2)}	OS
V7.1E 以降	2029 年 1 月 9 日	未定	Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2019 (Microsoft 社製)

注 1) ご使用中の製品のバージョンがご不明の場合は、当社の営業またはサービス担当者にお問い合わせください。

注 2) 当社が本製品の販売を終了するなど、さまざまな状況変化で日程を見直す可能性がございます。

2. 保守計画について

●サポート期間中（～EOL）

- ・対応が必要な脆弱性に対し、ソフトウェアアップデート及び脆弱性修正の提供を行います。
- ・実際の適用作業は、保守契約／スポットサービス請負契約に基づきサービス作業を提供します。

●限定的サポート中（EOL～EOS）

- ・OS 以外の対応が必要な脆弱性に対し、ソフトウェアアップデート及び脆弱性修正の提供を行います。
- ・実際の適用作業は、保守契約／スポットサービス請負契約に基づきサービス作業を提供します。
- ・一般的な不具合等の解析依頼や修正については、当社により対応必要と判断した場合に対応します。

●サポート終了後（EOS 以降）

- ・市販後監視の一環として脆弱性情報を監視しますが、薬事上の回収（改修）に該当する場合を除き、脆弱性の修正を含むセキュリティアップデートの準備・提供は行いません。セキュリティに関する責任はお客さまへ移転されます。
- ・回収（改修）に該当はしないものの、製品に影響する深刻度が高い脆弱性（緊急性が高い脆弱性）については、情報を提供します。
- ・その他、情報提供を求められた場合は、セキュリティアドバイザリの開示を行います。

3. セキュリティインシデント発生時の対応

製品をご利用いただいている環境でセキュリティインシデントが発生した場合、装置への影響の有無にかかわらず、一旦ネットワークから切り離してください。インシデントが解決し、ネットワークに異常がない状態になってから、再接続をお願いします。

なお、当社の製品の動作に異常がある場合には、異常の状態を分かる範囲で当社までご連絡ください。

以上